

第1回震災予防講演会 大津波襲来の予感：2010年チリ地震を巡って

主催 一般社団法人 日本地震工学会

後援（予定）：（社）日本地震学会、（社）土木学会、（社）日本建築学会、（社）地盤工学会、
（社）日本機械学会、NPO 法人 日本火山学会 歴史地震研究会（順不同）

昨年2月に日本各地に津波警報が発令された。遠く地球の裏側で起こった地震による津波が日本列島に襲来したからである。今からちょうど50年前の記憶がよみがえり、震撼とされた方もおられたかもしれない。1960年のチリ地震津波から50年、今回の津波に対する人々の対応は、今世紀前半にも日本を襲うと予測される東海・南海地震でどれだけ人命を救えるかを占う上でも重要な経験である。また現地チリでの状況も東海・南海地震を控えた日本には参考になる。日本人はこのままでいいのか？どう津波と向き合えばいいのかをこの機会に改めて考えてみたい。

なお、本講演会は（財）震災予防協会が30年に渡り震災予防のために行ってきたものを、日本地震工学会が引き継いで行うものである。

日時：2011年2月4日（金）13:00～16:30

場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

1. プログラム：13:00～16:30

司会 武村雅之（小堀鐸二研究所副所長）

13:00～13:10 開会挨拶 久保哲夫（本会会長）

13:10～13:15 趣旨説明 武村雅之（司会）

13:15～14:15 50年前の記憶：1960年チリ地震津波 首藤伸夫（東北大学名誉教授）

14:15～15:15 2010年チリ地震津波とその被害 藤間功司（防衛大学校教授）

15:15～15:30 休憩

15:30～16:30 津波避難の諸問題：東海・南海地震 林 能成（静岡大学准教授）

2. 資料代：1,000円（当日引換）

3. 定員：150名（先着順）

4. 申込方法

- (1) 参加の方は、「第1回講演会」として、氏名、勤務先（参加者が2名以上の場合それぞれのお名前）連絡先住所、電話番号、メールを明記して、メールまたはFAXのいずれかでお申込みください。
- (2) 参加証はメールまたはFAXにてお送りいたします。
- (3) 当日、参加証を持参の上、資料と引き換えてください。（資料代は有料です）

5. 申込み・問合せ先：日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館

電話 (03) 5730-2831、FAX (03) 5730-2830

メールアドレス：office@general.jaee.gr.jp



会場案内図(<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html> より)